

調査項目解説（農産物）

「商品」 一般的な名称をひらがなで記載してください。特定のブランド名等がある場合は（ ）で記載してください。

「認証等の種類」 ASIAGAP、GLOBALG. A. P.、JGAP、〇〇県 GAP、有機 JAS・GAP 差分確認及び SQF+補遺の該当箇所に「○」を記載し、県 GAP の場合は名称を記載ください（複数の認証等を取得している場合はそれぞれ記載してください）。

なお、「SQF+補遺」とは、組織委員会の認める一次生産の SQF 食品安全コード（東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会の調達基準に準拠するための補遺を含む）を指します。

「認証時期等」 認証の取得又は確認時期を記載してください。なお、申請中又は申請の予定がある場合は、認証予定時期を記載してください（ただし、2020年3月末までに取得する cases に限ります）。

「推奨事項の種類」 持続可能性に配慮した農産物の調達基準の5に基づき、該当するものがあれば「○」を記載してください。

- ・有機農業：有機農業により生産された農産物
- ・農福連携：障がい者が主体的に携わって生産された農産物
- ・農業遺産：世界農業遺産や日本農業遺産など国際機関や各国政府により認定された伝統的な農業を営む地域で生産された農産物

「農業高校等」 農業高校による取組の場合は「○」を記載してください。

「供給元生産者等」 同一銘柄の農産物（コシヒカリ、〇〇なす等）毎に生産している農家を整理して、同一銘柄毎にエクセルの行を続けて生産者または販売者を記入してください。

商品の生産者又は販売者を記載してください。例えば「JA〇〇」や「〇〇ファーム」などの他、個人の生産者の方は「農林太郎」などの個人名を記載してください。同一県内に複数の農場を有する場合で、商品が同一の場合、全て代表名で記入してください。

「生産地」 生産している農場の所在地を市町村名まで記載してください。複数の市町村で生産されている場合は複数の市町村名を記載してください。

「供給可能量」 東京大会の期間中（2020年7月中旬～9月上旬）に大会向けに供給可能な（仕向けられる）商品の量（kg）を記載してください。

「供給可能期間」 「供給可能量」の期間別の内訳量（kg）を記載してください。

「最低受注単位」 受注可能となる最低量（ロット）を記載してください。例）「〇〇kg」、「〇〇カット（1/〇サイズ）」

「保存・輸送方法」 常温、チルド、冷凍、加工のうち、独自で対応可能なものがあれば「○」をつけてください。委託加工で提供できる場合は「△」を記載してください。また、この他に対応可能な加工方法や対応可能なカットの種類などの追加で記載できる情報のほか、委託加工があれば、備考に詳細を記載してください。

「送料」 提供価格に加え別途送料が発生する場合は、発注単位における生産地から東京23区内までの概ねの送料を、配送拠点がある場合は配送拠点から東京23区内までの送料を記載するとともに「(配送拠点)」と分かるように記載してください。

「中間集荷施設等」 通常利用している集荷施設や配送センター、貯蔵倉庫、加工施設などがある場合はその旨記載してください。複数ある場合は、消費地に近い方を記載ください。例)「JA〇〇選果場」、「〇〇県〇〇配送センター」、「太田市場内〇〇」など。

「都道府県担当者」 飲食提供事業者等が相談する際の連絡先を記載してください。

「問い合わせ先」 飲食提供事業者等が相談、発注する際の連絡先を記載してください。問い合わせ部署、担当者名、電話番号などを記載してください。

「備考」 通常の販売価格(庭先価格・消費税込)を参考情報として記載ください。それ以外の価格を記載する場合はカッコ書きで、解説をしてください(卸売価格等)。

*共通リストの記入に際しては、同一銘柄毎に複数の供給可能生産者または販売者がある場合は、供給可能量を合算してまとめた上でご記入ください。(「供給可能量」の期間別の内訳も同じ。) その際、「問い合わせ先」が複数となる場合は、問い合わせ先欄には、すべて記入してください。